

鑛業抵當法案特別委員會議事速記録第一號

委員氏名

委員長

子爵曾我 祐準君

副委員長

子爵堀田 正養君

委員

子爵大宮 以季君

子爵島居 忠文君

子爵三島彌太郎君

男爵前島 密君

男爵小澤 武雄君

村田 保君

男爵平田 東助君

男爵川口 武定君

古市 公威君

藤田 四郎君

都筑 馨六君

高木 豐三君

小幡篤次郎君

明治三十八年二月十七日(金曜日)午後一時六分開會

○委員長(子爵曾我祐準君) 唯今ヨリ鑛業抵當法案ノ委員會ヲ開キマス、本案提出ノ理由ヲ一通リ政府委員ヨリ承テハドウデマス、ドウカ政府委員ノ説明ヲ……

○政府委員(齋藤十一郎君) 鑛業抵當法案ヲ提出シマシタ理由ハ、先キ此會ニ於キマシテ御協賛ヲ經マシタ鐵道抵當法案ヲ提出シマシタ理由ト全ク同一デゴザイマシテ、從來ノ規定ニ依リマスル御承知ノ通り鑛業ノ權利デゴザイマス、鑛業ノ權利ガ單獨ニ抵當ノ目的トナル規定モゴザイマス、ソレカラ鑛業ニ必要ナル工作物即チ土地ト建物デゴザイマス、之ニ付キマシテハ土地及建物ト致シマシテ茲ニ抵當ノ目的トナルコトガ出來ルデアリマスガ、サテ鑛業權ニ土地、建物其他鑛業ニ必要デアリマスル機械、器具等、ソレヲ一括シマシテ抵當權ノ目的トナルコト云フ規定ガ缺ケテ居リマスルガ爲ニ、鑛業權者ガ折角貴重ナ財産ヲ持テ居リマシテモ、ソレヲ抵當トシテ他カラ金借ヲスルト云フコトハ出來ナイト云フ有様デアリマス、其缺點ヲ補ヒマスルガ爲ニ詰リ此案ハ出マシタ様ナ次第デゴザイマス、ソレデ此案ニ付キマシテハ設定後ノ手續ニ付キマシテハ矢張り工場抵當法ノ規定ヲ準用シテ居ルデアリマシテ、鐵道抵當法ノ規定ヲ準用シナイ主義ニナッテ居リマス、是ハ申スマデモゴザイマセヌガ、鐵道デゴザイマスル屢ミ鐵道抵當法案ノ委員會ニ於キマシテ御話モ出マシタ通りノ、半バ此公ケノ性質ノモノデゴザイマス、デ鑛業ノ方ハ殆ド純粹ナル私權ト云フ譯ニハ參リマセヌカモ知レマセヌデゴザイマスガ、ドチラカト申スト鐵道ナドトハ違ヒマシテ寧ロ鑛業權者ノ私權ト認メテモ宜シイ、其方ニ傾ク性質ノモノデアラウト思ヒマス、デ恰モ鑛業權者ガ工場ヲ持テ居リマスルモノハ稍ミ似テ居リマスルノデアラウト思ヒマス、工場財團ニ關シマスル規定ヲコチラノ鑛業財團ノ方ニ準用スル方ガ相當デアラウ、斯ウ云フ主意デ多ク規定ヲ設ケマシタ次第デアリマス、併シ此鑛業ノ性質上ドウシテモ工場抵當法ノ規定ニ依リ兼ネマスル分ハ特ニ茲ニ規定シテゴザイマス、ソレカラ尙モウ一箇所此所申述ベテ置カナレバナラヌコトハ鑛業財團ヲ競賣ニ付シタ時ニ競落人ガ會社ヲ設立スルト云フノ規定デゴザイマス、此規定ハ寧ロ御協賛ヲ經マシタ鐵道抵當法ノ規定ニ依ッタノデ、アチラノ方ガ便宜デアリマスノデ、アノ主意ヲ此所ニ取りマシテ、サウシテ數箇條設ケデアリマス、別ニ他ニ委シク申

上ケルヤウナコトモゴザイマセヌ、大體斯ウ云フ主義デゴザイマス

○藤田四郎君 今朝色ミト御話ガアリマシタノデアリマスガ、尙能ク政府ノ御主意ヲ確メテ置キタイト思ヒマス、本法ハ工場抵當法ニ專ラ依ルコトニナッテ居リマス、工場抵當法ニ於キマシテハ第五條ニ於キマシテ工場財團ヲ作ラナイモノニ付キマシテノ抵當ノコトト、ソレカラ八條以下ノ工場財團ヲ作ラナイモノニ付イデノ二色ニ分ケデアリマス、其工場財團ヲ作リマシタ方ノ財團ニ加ハリマシタモノニ付キマシテハ、假令其目錄ニアリマスモノハ動産ニシマシテモ矢張り若シ此會社ガ抵當權者ノ承諾ヲ經テ何モ經テ居リマシタ時ニ第三取得者ニナル人ガ善意ニ之ヲ買ヒマシタ時ハソレガ效力ガ有ルト云フヤウニモ見エマスシ無イト云フヤウニモ見エマス、第五條ニ於キマシテハ財團ヲ作ラナイモノニ付キマシテハ強イテ論ズルマデモゴザイマス、此鑛業財團モ矢張り工場財團ト同様ニ見エマス時ニ民法百九十二條ニ依リマシテ即時時効ト云フヤウナコト第三取得者ノ善意ノ場合ニハ其人ニ移ルト云フコトニナッテハ財團ヲ作ル所ノ目的ニ適ハナイカト思ヒマス、畢竟此建物ナリ地所ナリサウ云フモノハ無論登記ノ出來マスノデゴザイマスガ、鑛山ニシテモ工場ニ致シマシテモ動産タル所ノモノハ重モナル値打ノアルモノデゴザイマス、是ガ充分ニ安全ニ保護サレテ行クト云フコトデナイト充分ニ貸付ガ出來ナイト云フコトニナル、工場ニシテモ鑛業ニシテモ困難ニナルコト、思ヒマス、是ハ他ノ委員ニ付託サレタコトデアリマスカラ、ドウ云フコトニ決議サレカ知リマセヌガ、成ルベク是ハ同ジヤウニ行カヌト準用スル譯ニナリマセヌ、若シ違ッタ時ハ此方モ變ヘナケレバナラヌト云フコトニナリマス、政府ハ工場抵當法ノ第五條ニ但書ヲ置キマシテ工場財團ヲ作ル所ニ何等ノ規定ガ無イハ民法ニ依ッテ登記モシ廣告モスルカラ、第三者ニ對シテ對抗シ得ベキモノト存ジテ宜シウゴザイマスカ、一應伺ヒマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 其點ニ付キマシテハ全ク御説ノ通りデゴザイマシテ、工場抵當法十三條ノ第二項ノ主意ハ絕對ニ讓渡ヲ禁ジマス主義デゴザイマシテ、假令他人ニ占有ガ移リマシテモ抵當權者ガ其占有者ニ對抗ガ出來ルト云フ主意デゴザイマス

○藤田四郎君 唯今ノ工場財團ノコトニ付キマシテ唯今御説明ニ依リマシテ能ク分リマシタ、即チ鑛業財團モ工場財團ト同様ニ併セテ民法ニ依ラズシテ、工場抵當法ノ第十三條第二項ニ依ルト云フコトハ大變満足スル次第デゴザイマスガ、尙此絕對ニト云フ今御話デアリマシタガ、随分大キナ工場ナリ大キナ鑛山デアリマス種々ノ財産ガアル、其財産ノ中ニハ使ハヌ機械ガアル、唧筒ナリ蒸氣機械ナリト云フモノハ場合ニ依リマシテハ隣ノ鑛山ニ貸スト云フコトガアル、其時ニ抵當權者ノ同意ヲ得タキハ抵當權者ガ收益ヲ得テ貸シテ宜イコトト思ヒマス、此法律ヲ準用スルコトデアリマス、是モ決議スルコトハ出來マセヌカラ、ドウカ政府委員ニ於キマシテ、工場抵當法ノ委員ハ政府委員カラ能ク御話シニナリマシテ歩ミノ出來ルヤウナコトニシタイ、實際貸借ガ出來ナイト云フコトニナリマス困難ニナリハセヌカト思ヒマス、是モ併セテ申上ゲテ置キマス

○政府委員(吉村源太郎君) 唯今藤田サンノ御尋ノ點ニ付キマシテハ丁度工場抵

當法ノ委員ニ於テ矢張り同シヤウナ質問が出マシタ、ドウモ質貸ヲスル場合ハ抵當權者ノ同意ガアルニ拘ラス質貸ノ出來ヌト云フノハ不便デアルト云フコトデアリマス、政府ニ於テモ至極尤ニ考ヘマシテ十三條ノ二項ニ但シ抵當權者ノ同意ヲ得テ質貸ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラスト云フ但書ヲ加ヘマシタカラ、唯今藤田サシノ御疑ハソレヲ消エルダラウト思フ

○藤田四郎君 此鑛業抵當法ノ第四條ノ末項三前二項ノ規定ハ鑛業法第三十八條第一項又ハ第三十九條ノ規定ニ依ルトス云フコトガアリマス、此鑛業法ハ衆議院ハ通過シテ居リマスガ、マダ本院ニ於テハ審議中ノヤウデアリマス、此鑛業抵當ノ方ハ衆議院ニ至ッテ居リマセヌデ、急グコトデアリマスカラ、是ハ或ハ其實質ヲ此處ニ載セナケレバ委員ガ報告ヲスルコトハ困ルコトデアリナカト思ヒマス、政府ニ於キマシテ是ハ實質ヲ書キマシテモ差支ゴザイマセヌカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 唯今ノ御問デアリマスガ、條文ノ代リニ實質ヲ此處ニ書載セルト云フコトニ付キマシテハ敢テ不同意ハゴザイマセヌ

○藤田四郎君 第二條ノ第二ニ「土地及水ノ使用權」ト云フコトガゴザイマス、是ハ鐵道抵當ノ時ニモ大分議論ガアリマシタコトニ關聯シテ居リマスガ、此水ノ使用權ト云フコトニ付キマシテハ是マドノ法律ハ何モ書イタモノガ無イヤウデゴザイマシタガ、承レバ此項政府カラ提出サレタモノハ鑛業法ニモアルシ、又其他ノ案ニモアルト云フコトデアリマスガ、此事ト云フモノハ是マデ農民ノ灌漑用等ニ付キマシテハ種々ノ苦情等ガアリマシテモ、未ダ使用權ト云フモノガ公ケニ認メラレテ居ラスデ全クノ行政處分テ重モニヤッテ居ルヤウデゴザイマス、固ヨリソレハ示談契約ヲシテヤッテハ居リマスガ、全ク行政上ノ手段ニ重モニ出テ居リマス、又工場ナリ又ハ鑛山會社此水ヲ使用スルニ付キマシテハ村ノ人民ナドト相談ヲ致シマシテ、或ハ高イ稅拂フ場合ガアリマスケレドモ、斯ウ云フモノハ明ニ權利ト認メテ居ラス様ニ思ヒマス、デ根本ガ定マラス内ニ斯ウ云フモノヲ書クト云フコトハ一利一害ト云フ多少懸念ガアリマス、工場抵當ノ方ノ委員デハ或ハ此水ノ使用權ト云フ字ヲ削ルトカ云フ噂ガアルコトヲ聞テ居リマス、是ハ地役權トシテ即チ十六條ニ依リマシテ民法二百八十一條ノ規定ヲ以テ往ケルト云フ論ヲ削ルト云フ話ヲ承リマシタ、ソレニ付キマシテハ政府委員ニ於テハドウ云フ御考デゴザイマセウカ、一ツ御考ヲ承ッテ置キタウゴザイマス

○都筑馨六君 序デニ併セテ質問ヲ……私ノ考モ同ジ様ナ質問デスカラ少シ補ッテ置キタイト思ヒマスガ、此鑛山ナリ工場ナリテ用井マス方ハ落著イタ水ノ問題ハ多カラズシテ多クハ流レ逝ク水ノ方ノ使用デアルノデ、流水ト云フコトニナレバ特リ此民法上ノ水ノミナラス公共河川ヤ何カノ水ガ多ク問題ニナッテ居ル、而シテ其流水ヲ使用シテ居リマスノハ鑛業バカリテ無ク大工ノ工ノ字ノ工業……此工業、農業ニ一番利害ノ關係ガ多イト思フノデ、之ヲ河ニ對シテ……河ヲ管理シテ居ル行政廳ニ對シテ權利デアルカノ如ク認メラレル文字ヲ使ッテ置キマスノハ將來非常ナ危險ヲ來シハシナイカ、ト云フノハ此河ヲ附換スルカ、河ノ底ヲ變ヘルト云フ様ナ時ハ、今デハ村ミデ認メマシテ隣ノ地面ノ持主ノ同意ヲ得テサウシタル思ヒマス、是ハ公然タル權利問題、賠償問題、ソレカラ裁判上ノ問題、斯ウ云フコトニナリマシテ將來土木工事ハ河ニ向ッテ出來ナイ結果ヲ來

スノミナラズ、何レ水ヲ使用スルト云フコトニナレバ其水ノ從來程度ノ純潔、從來ノ程度ノ分量ト云フモノヲ使用スル權利ニナッテ來ヤウト思フ、從ッテ河下デ今マデ農業ニ使ッタ水ヲ河上デ他ノ事ニ使フ爲ニ分量ガ減ルトカ、或ハ工場ヲ起シタ爲ニ汚スト云フ様ナコトニナルト、河下デ苦情ノミナラズ今度ハ權利問題ニナッテ……從ッテ河上デ以テ新タニ工場ヲ起ストカ或ハ今マデ使ッタ分量ヲ殖スト云フトキニハ賠償ガ起ッテ終ニ工業モ出來ナイト云フ様ナ、解釋如何ニ依ッテハ結果ヲ來シハシナイカ、幸ヒ政府ノ方デハ工場法ノ方デハ是ヲ抜クコト同意サレタ様ニ聞及ヒマス、若シ同意サレタナラバ誠ニ仕合セデアルカノ如クニ思フデスガ、如何デゴザイマス

○政府委員(吉村源太郎君) 御答イタシマスガ、此工場抵當法案ノ方ニモ「土地又ハ水ノ使用權」ト云フ同ジ文句ヲ矢張り掲ゲラレテ居リマスガ、是ハ委員會ノ決議ニ依リマシテ政府モ同意イタシマシテ之ヲ削ルト云フコトニ致シマシタ、ト申シマスモノハ工場ノ方デハ「土地又ハ水ノ使用權」是ハ政府ノ考デハ私法上ノ權利、ソレト或ハ土地收用法ニアル通り、或ハ鑛業法ニ依リマシテ唯今御審査中ノ鑛業、其鑛業法ニ依リマシテ收用シタ場合ト其場合ガ違ヒマス、唯今御話ノアリマス鑛業ニ河川カラ水ヲ引クト云フ様ナコトハ收用法ノ上カラ申シマシテモ又鑛業法ノ上カラ申シテモ……サウ云フコトハ無イ考デ茲ニ掲ゲマシタ、「土地又ハ水ノ使用權」ト申シマスノハ民法上ノ權利デアッデ、其民法上ノ權利タルヤ民法ニ掲ゲテゴザイマスル地役權ト云フモノトモ違ッデ一種ノ物權の力ヲ持ッテ居リマシテ、此權利ニ付テハ別ニ登記ノ方法トカ何トカ云フ様ナコトデナシニ第三者ニ對抗シ得ラレル物權ト云フ明カナ規定ハゴザイマセヌガ、效力ハ殆ド物權ト同ジ様ニ民法上ノコトデアル、其モノマデ關係スルノデアリマス、ソレカラ此工場ノ方ニ行キマス土地收用法ヲ適用イタシマシテ土地又ハ水ノ使用權ヲ收用スルト云フ様ナ場合ハ或ハ瓦斯トカ電氣ト云フ様ナ事柄ニ付テハ或ハアルカモ知レマセヌガ、殆ド場合モ少カラウト云フ考デゴザイマスルシ、又一方ニハ民法ニ地役權ノ規定ガゴザイマシテ「土地又ハ水ノ使用權」ト云フノハ其地役權ノ規定デ動キガ付キサウニ考ヘマス、ソレデ工場法ノ方ニハ委員會ノ御考ニ同意ヲ致シマシテ削リマシタノデゴザイマスガ、ドウデゴザイマセウカ、此鑛業ノ方ニナリマシテハ、今御審査中ノ鑛業法案ノ中ニ一條掲ゲテゴザイマシテ、土地ノ使用ト云フ題デ一條設ケラレテゴザイマス、ソレハ殆ド土地收用法ト同ジ様ナ規定デ矢張り土地ノ使用權ヲ收用シ得ラレルト云フ規定ガゴザイマシテ其末條ニ行キマシテ、土地ノ使用ニ關スル規定ハ水ノ使用ニ關シテモ之ヲ準用スルト云フコトニナッテ居ルノデゴザイマス、サウシマス云フト鑛業法ニ明ニ一條ヲ設ケテ土地又ハ水ノ使用ニ關スルコトガアル、從ッテ鑛業權者ガ其權利ヲ有ッテ居ルニ拘ラス抵當法律ノ中ニソレガ這入ッテ來ナイト云フト多少辻褄ノ合ハヌコトニナリハセヌカ實ハソレヲ恐レテ居リマス

○都筑馨六君 如何デゴザイマセウ、其鑛業法ノ方ノハ無論其水ノ使用權ト云フ民法上ノ水ノ權利ニ付テハ使用權モアリマセウシ、地役權モアリマセウシ、色ノモノガアラウト思フ、所デ其民法上ノ權利ガ目的デアルヤ否ト云フコトニ付テ公共河川ト認メラレマシタ河川ニ付テハ明カナ規定ガアル、所ガ其他ノ河……大ナル河デ從來公共河川ト認メラレ、又公共河川ト認メラレル手順ノ付カヌ河ガ幾ラモアル、是等ハドッチカト云フ

民法上ノ水トモ言ヘナト思フ、ケレドモ茲ニ書イテ御置キニナルト總テ水ノ使用權ガアルカノ如ク見エル虞ガアル、ソレデアチラノ方ハ民法上ノ水ヲ使用スル權利ニ關スル規定ハ土地ノ使用ニ關スル規定ヲ準用スルト、斯ウ解釋ヲナサレナイコトハ無イ、無論ナイ方ガ宜ウゴザイマスケレドモ、ドツチカト云フト云フト無イ方ガ宜イト思フ、有ツタ所ガゴデツケテサウ解釋ガ出來ナイコトハ無イガ、コチラノ方ハ、斯ウ書イテアルト、礦業ヲ多ク使ッテ居ルト云フハ、直グ二頭ニ浮ブハ、彼ノ足尾邊リテ製煉ノ爲ニ河ノ水ヲ多ク使ッテ居ル、ア、云フモノハ頭ニ始終コタヘル、アレバ權利ト認メテ宜イカ、今度アレガ分量ヲ殖ストカ、減ラストカ或ハ汚レ方ガ多イト云フト河下全體カラ權利問題ヲ擔ギ出サレマシテ、礦業ガ出來ナクナル結果ヲ來シテ礦業ノ爲ニ宜クハナイカ、農業ノ爲ニ尙宜クハナイカ

○政府委員(吉村源太郎君) 唯今都筑サシノ御話ハ此上ニ礦業法ニ依ルト云フ文字ガアレバ宜シイト云フ御意見デスカ

○都筑馨六君 私ハドウセ之ヲ書イテ置イタ所ガ實際適用ノ範圍ハ民法上水ノ使用權……民法的水ノ使用權ガアルトカ無イトカ、從ッテ斯ウ云フ危險ヲ文字ヲ書イテ從前公然使ッテ居ル水ハ總テ使用權ノ目的デアルカノ如キ感ヲ起サセル……解釋如何ニ依ッテハ私ハサウナラウト思フ、ドツチヲ使ッテ居ルト云フニ重ニ河ノ水ヲ公共ガ使ッテ居ル、ソレヲ此處デ權利トシテ認メ、財產權ノ目的トシテ認メタカノ如キ規定ハ餘程危ナイ解釋ヲ來ス、私共ハ今ノ説明ヲ聽クマデハ矢張り土地及ビ水ノ使用權ト云フハ平素使ッテ居ル權利ヲ認メラレタモノト解釋シテ居ッタ

○藤田四郎君 丁度今礦業法ノ中ニ水ニ關スル規定ノコトガ出來テ居ルカラト云フ御趣意ノヤウデゴザイマスガ、併ナガラ工場ノ抵當法ノ方デ削リマシタ上ハ矢張り其權利ト云フモノハ、畢竟工場抵當法ノ十六條ニアルコトヨリ上ノコトハナイト思ヒマスカラ削リマシテモ差支ナイト思ヒマス、是マデ斯ウ云フ字ハ礦業法ニ使ッテナイカラ支ヘナト思ヒマス

○政府委員(齋藤十一郎君) 是ハ實ハ農商務ノ政府委員ガ居リマスレバ尙明確ニナルノデアリマスガ、唯今少シ差支ガアリマシテ急ニ二合ヒマセヌノデ誠ニ残念デアリマス

○委員長(子爵曾我祐準君) 唯今農商務ノ委員ヲ尋ニヤリマシタガ、アツチガ手が引ケヌサウデゴザイマスカラ、今政府委員ガ農商務ノ委員ガ居ナレバ明確ニ答ヘラレヌト云フコトデアリマスカラ、ソレヲ待ッテ……

○政府委員(齋藤十一郎君) 若シ宜シケレバ此問題ハ後ト回シニ願ヒタイ

○都筑馨六君 第七條ニ「礦業財團ノ競落人カ前條第一項ノ規定ニ依リ競賣ニ加入シタル者ナルトキハ競落ヲ許ス決定シタル日ヨリ三箇月内ニ會社ヲ設立シ」トアル、是ハ何故ニ會社ニ限ラレカ、一個人デハ出來ナイノコト云フコトヲチヨット伺ヒタイ

○政府委員(吉村源太郎君) 是ハ礦業法案ト關係シタモノデハゴザイマスガ、礦業法案ノ方ニ依リマスルト礦業權ト云フモノハ外國人ハ持テナイ、帝國ノ臣民ガ帝國ノ法律ニ從ッテ設立シタ會社デナレバ礦業權ハ持テナイト云フコトニナッテ居ル、所ガ礦業財團ノ中ニハ礦業權ト云フモノガ台マレテ居リマスカラ、礦業財團ノ競落人ガ個人デアッタト云フヤウナ場合若クハ外國人デアッタ場合ニハ其者ニハ直チニ權利ヲ移轉スルト云フコト

ハ出來ナイ

○都筑馨六君 ソレハ分リマシタガ、其一個人ニ權利ヲ持タセルノ得失ハ姑ク措イテ、若シ其御趣意ナラバ何故ニ此規定ハ外國人ガ加入シタルトキニハ會社デナレバナラヌ、日本人ナラバ一人デモ宜シイト云フ規定ニナラヌカ、御趣意ヲ追究シマスレバ……

○政府委員(吉村源太郎君) ソレハ特ニ外國人トノミ限ッテ置ク必要ハ無イ、日本人デアッテモ將來會社ヲ拵ヘテ、殊ニ礦業財團ト云フモノガ非常ナ金目ヲモノデアッテ、ソレヲ一個人デアルコロモ或ハ數人集メテ會社ヲ拵ヘル或ハ株式會社ヲ拵ヘルト云フ、會社トシテ礦業ヲ營ンダ方ガ便利ト認ムル場合ガアル、サウ云フ場合ニ殊ニ外國人ノミニ斯ウ云フ規定ヲ拵ヘテ置キマシテ內國人ガ會社ヲ組織シヤウト云フトキニ設立ガ出來ナイコトニナッテハ窮屈ニナルカラ、特ニ外國人ノミニ限ラナイデ內國人ニモ規定ガ必要デアルト云フヤウナ次第デゴザイマス

○都筑馨六君 ドウモ質問ト答辯ト喰ハヌヤウデゴザイマス、私ノ質問ハ外國人ニ許ス許サヌト云フ得失ハ姑ク措イテ假ニ外國人ガ一個人デアッテハ許サヌトシテモ內國人デ一個人デアッテ出テ來タナラバ何故ニ之ヲ御禁ジナサルカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 其場合ニハ一個人ガ競賣ニ加入スルコトハ禁ジテナイ趣意デアリマシテ、矢張り一個人ガ自分一人ダケデ礦業ヲ繼續シヤウト云フ場合ニハ、ソレハ十分出來ル趣意ナンデゴザイマス

○都筑馨六君 サウスルト會社デナクテモ宜イノデゴザイマス

○政府委員(吉村源太郎君) 第六條ノ規定ニゴザイマス通り「競賣ニ付セラレタル礦業ヲ目的トシ帝國法律ニ從ヒ會社ヲ設立セムトスル者カ競賣ニ加入スルトキハ競賣ノ申込ト同時ニ其旨ヲ執行裁判所ニ申出ツヘシ」ソレヲ受ケテ七條ニ其規定ニ依ッテ云々トアリマス

○都筑馨六君 分リマシタ

○藤田四郎君 是ハ簡單ナ法律デゴザイマスルシ工場抵當ノ方トサウ云フ様ナコトニ關聯イタシテ居ルコトナラ、私ハ是ハ御討議ニナッテモ宜イカト思ヒマス、第二章ノ所ハ兎ニ角我ノ意見ヲ以テ斯カル決議ヲスルナラ修正ノコトハ農商務省ノ政府委員ガ來テ、入レンナラヌコトガアレバ入レルトシマシテ兎ニ角我ノ見ル所デ削リナリ修正ヲスルナリスルガ宜カラウト思ヒマスカラ、二讀會ヲ御開キニナラムコトヲ希望イタシマス

○高井豐三君 私ハ此水ノ使用權ト云フコトニ付テハ、假ニモ削リテ仕舞ウト云フコトハ甚ダ躊躇ヲスル、ドウセ今日ハ議決シテ仕舞フト云フ譯ニモ行クマイカラ……

○委員長(子爵曾我祐準君) 藤田君ノ御趣旨モ決シテ仕舞フト云フノデハナイ、第一讀會ノ初ニ付テ逐條デヤッテハドウカト斯ウ仰シヤルノデアリマス

(速記中止)

○高木豐三君 ソレナラ宜シイガ……

○委員長(子爵曾我祐準君) 速記ヲ始メテ重要ノコトヲ議シタウデゴザイマス

○古市公威君 抑、此礦業抵當法ハ工場抵當法ト親密ノ關係ヲ持ッテ居ルモノデモアルシ、ソレカラ又中ニ就テ水ノ使用權ト云フ問題ハ餘程ヤカマシイ問題デアリマスガ、類似ノ工場抵當法ノ方デ削ラレテ、コ、バカリデ存スルト云フノモ餘ホド變ナモノデアリ

マスルカシテ、是ハ工場抵當法ト餘ホド能ク對照シテ見ナケレバナラヌコト、考ヘマス、然ルニ工場抵當法ノ方デモ段々ムツカシイ問題ガアッテ、聞ク所ニ依ルトニ二三ノ特別ノ委員ヲ選ンデワレニ調査ヲ委託シタコト云フ話デアリマスカラ、コナラデモ矢張り此委員ノ中カラ二三ノ特別委員ヲ作ッテサウシテ工場抵當法トノ關係、其他殊ニ今問題ニナッテ居ッタ水ノ使用權ノ問題ナドヲ調査シテ貴ヒマシテ其報告ヲ得デ再ヒ委員會ヲ開イタラ如何デゴザイマス、此說ヲ提出イタシマス

○高木豐三君 至極御尤デアリマスルケレドモ、工場抵當法ナドニサウ云フ例ヲ設ケラレタノハ詰リ民法其他ノ法律ニ關係ノ問題ガ多ク含シテ居ルト云フノデサウ云フコトニナッタノデアリマスガ、此鑛業抵當法案ハ極メテ簡單デアリマスカラ、特別ノ調査委員ト云フヤウナモノヲ設ケル必要ハアルマイト思ヒマス、唯、今ノ協定スベキ問題ニ付テ政府委員ト協議スルト云フコトハ至極結構デゴザイマスルケレドモ更ニ特別ノ委員ヲ置クト云フマデニハ及ブマイト思ヒマス、殊ニ又期限ガ非常ニ延ビラウト思ヒマス

○古市公威君 敢テ主張スル譯デハゴザイマセガ、政府委員ト協議スルノニモ是ダケノ多數ノ人デ協議スルヨリハ特別ノ委員ヲ設ケタガ便利デアラウ、又工場抵當法デ委員ヲ設ケル必要ガアッタノハドウ云フ譯デアリカト云フト今高木君ノ御話ノアッタヤウニ民法ナドニ關係カアル、其民法ナドニ關係ノアル工場抵當法ニ矢張り此鑛業抵當法ガ關係ガアル、ダカラソレダケノ手續ヲシタガ宜カラウト思ヒマス

○子爵堀田正養君 本員ハ古市君ノ御説、委員ヲ更ニ選ンデソレニ調査ヲ委託スルト云フコトニ賛成ヲ致シマス、就テハ其調査ヲスルニ付テ大變時日ガ長ク掛ルヤウナ高木君ノ御心配ハ御尤デアリマスガ、ドウカ明日ノ午前中ニ委員長ノ手許ヘ調査シタ結果ヲ報告スルト云フ條件附テ依頼シタラバ如何ト思ヒマス、サウスレバ明日委員會ヲ開クコトガ出來ヤウト思ヒマスカラ、古市君ノ説ニ賛成イタシマス

○子爵三島彌太郎君 私モ賛成

○委員長(子爵曾我祐準君) 小委員ヲ選ンデソレニ調査ヲ託スルト云フコトハ成立シマシタガ、之ト同時ニ人員ハ何名ニナサルカ、サウシテ其選舉ハドウナサルカ

○古市公威君 委員ハ三名グラ井トシテ委員長ノ指名ニ……

○藤田四郎君 ソレハ私共ハドウモ實際委員ヲ組マレハ困難ダ、此用水ノ點ナドハ誠ニ困ルノデ……理窟ヲ言ヘバ色アリマスガ、強ヒテ反對ハシマセヌガ、ドウモ三人ノ委員デ此問題ニナッテ居ルコトヲ本會ノ意志ニ適フヤウニ出來ルヤ否ヤ……

○委員長(子爵曾我祐準君) ソレハ仕方ガアリマセヌ

○藤田四郎君 ソレデゴザイマスカラ、ドウガ決ヲ御探リ下サイ

○委員長(子爵曾我祐準君) 先ヅ大體カラ極メマセウ、小委員ヲ組ムト云フコトニ付テ賛成ノ御方ハ手ヲ御舉ゲ下サイ

舉手者 多數

○委員長(子爵曾我祐準君) 多數デゴザイマス、然ラバ三人ト云フコトモ御異議ハゴザイマセヌカ、ソレヲ委員長ノ指名ニスルコトモ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(子爵曾我祐準君) 然ラバ申上ゲマス、三島子爵、都筑君、古市君、此

三人ニ願ヒマス、ドウカ明日十二時マデニ御報告ヲ願ヒマス、サウシテ明日午後一時ヨリ會ヲ開キマス、今日ハ散會

午後二時二十三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵曾我 祐準君

委員

子爵大宮 以季君

子爵堀田 正養君

子爵鳥居 忠文君

子爵三島彌太郎君

男爵前島 密君

男爵小澤 武雄君

男爵平田 東助君

男爵川口 武定君

古市 公威君

藤田 四郎君

都筑 馨六君

高木 豐三君

小幡篤次郎君

政府委員

法制局參事官 吉村源太郎君

司法省參事官 齋藤十一郎君

農商務省鑛山局長 田中 隆三君